



2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進												
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護	森林環境保全の推進	林野火災大規模化の抑制(全体件数に占める焼損面積0.1ha以下の割合)	59	%	H30	64	%	R元	76	119%	R2	
マーケティング力ある林業担い手の育成	林業労働災害撲滅プロジェクト	林業労働災害発生件数	57	件	H30	55	件	R元	33	167%	R2	
林業経営体の育成	林業経営体育成(林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	1,672,000	m <sup>3</sup> /年	H30	1,731,000	m <sup>3</sup> /年	R元	1,883,989	109%	R2	
木材利用及び木材産業体制等の整備推進												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績/目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2) 総合評価  
計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護	本事業を活用して初期消火機材の導入を進めた結果、令和元年は林野火災件数59件に対して、焼損面積0.1ha以下の発生件数は45件となり、割合が76%と目標値を上回る結果となった。	今後も初期消火機材の導入を進めるとともに、林野火災の原因は、野焼き、たき火、火入れなど人為的な原因が依然と多いことから、農家等への火入れ許可届出の啓発活動や、横断幕、水スター、のぼり旗などを活用した山火事防止活動により、更なる注意喚起に努める。
マーケティング力ある林業担い手の育成	安全衛生指導員による安全巡回指導が林業労働災害の発生件数の低減につながり、目標を達成することができた。	林業労働災害の防止は、安全作業の徹底・定着に向け継続的に取り組むことが必要であることから、引き続き安全巡回指導等を通じた指導を実施する。
林業経営体の育成	本事業を活用して高性能林業機械等(4台)をリース導入したことなどから、本県の令和元年の業材生産量は約1,884千㎡となり、目標が達成された。	今後も計画的に高性能林業機械等の導入を進めていく。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。



達成状況報告対象一覧表

【林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業（ソフト）】

年度	政策目標	メニュー1	メニュー2	メニュー3	実施内容	事業費 (千円)	完了 年度	全体指標	指標値				目標値の報告	
									現状値		目標値		目標年度実績	報告 年度
									数値	単位	数値	単位		
H30	森林資源の保護	森林環境保全の 推進	林野火災予防対策	防火管理道及び防火帯道の作 設、初期消火資器材の配備	林野火災初期消火資 器材の配備	314	H 30	林野火災大規模化の 抑制(全体に占める焼損面 積0.1ha以下の割合)	59	%	64	%		R 2
H30	林業担い手等の 育成確保	林業労働災害撲 滅プロジェクト	労働安全管理体制の 整備	安全衛生指導員の養成、安全 巡回指導の実施	安全衛生指導員養成 研修の実施等	732	H 30	林業労働災害発生件 数	57	件	55	件		R 2
H30	林業経営体の育 成	林業経営体育成 対策	林業機械リース支援		林業機械等のリース による導入	84,900	H 30	素材生産量	1,672,000	m <sup>3</sup> /年	1,731,000	m <sup>3</sup> /年		R 2

令和2年度現在